

学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 岐阜市立岐阜商業高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和8年6月10日（水）13時30分～15時00分
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 3 開催場所 本校 会議室

- 4 参加者
- | | | |
|-----|-------|---------------------|
| 会 長 | 竹本 康史 | 岐阜聖徳学園大学教授 |
| 委 員 | 桐生 伸治 | 鏡島自治会連合会会長 |
| 〃 | 山内 義孝 | (株)サムソンフィクセル代表取締役社長 |
| 〃 | 澤津ルリ子 | 西児童センター館長 |
| 〃 | 高木あゆみ | 元PTA副会長 |
| 〃 | 上野 哲哉 | PTA会長 |

<学校側>

副会長	加藤 講平	校長
委 員	八田健二郎	事務長
〃	豊吉 利之	教頭
〃	野村 昌史	教務主任
〃	寺澤 裕紀	生徒指導主事・いじめ対策監
〃	澤田 幸男	進路指導主事
〃	平松 京美	商業科主任

- 5 目 的 保護者や地域住民と目標やビジョンを共有して連携を深め、家庭や地域と一体となって生徒を育む「家庭・地域とともにある学校づくり」を推進する。

6 会議の概要（協議事項）

（1）会長及び副会長等の選出

（2）学校経営計画を踏まえた学校運営と教育活動について

- ・令和8年度教育指導の重点及び学校経営計画、校務分掌の方針と重点、教育課程等について説明する。

意見1：教員の業務改善と勤務の適正化に向けてどのように取り組んでいくのか。

⇒教員の業務について、必要性や優先度を精査した上で、業務の削減・統合・簡素化を進めていく。部活動については、複数顧問での交代制などにより教員の負担軽減を図っていく。また、教員自身の働き方に対する意識向上を図るとともに、風通しのよい働きやすい職場づくりに努めていく。

意見2：教員の指導力向上に向けてどのように取り組んでいくのか。

⇒教育委員会等が主催する研修への参加を積極的に促し、最新の教育動向や指導方法について学ぶ機会を確保する。また、授業改善を主題とした校内研修を実施し、ICTの効果的な活用方法や評価の在り方について教員同士で学び合う機会を設けていく。

意見3：高校卒業後に就職する生徒については、就職後のミスマッチにより離職に至るケースが一定数存在すると聞いている。本校においては、就職後のミスマッチを防ぐためにどのような取組を行っているか。

⇒高校段階においては、大学のような体系的な就職活動を実施することは難しいが、本校では企業研究の機会を設けるとともに、生徒や保護者と面談を重ねることにより、生徒

一人ひとりの進路実現に向けた支援を行っている。

意見4：保護者の立場からは、子どもが商業に関する様々な資格を取得できるとともに、挨拶やマナーを身に付けられるよう指導を受けている点について高い評価と感謝をしている。また、本校には多くの魅力があることから、学校ホームページやSNS等を活用した情報発信に加え、卒業生による発信を促すなど、効果的な広報の在り方について一層の工夫が必要である。

(3) 卒業生を対象とした満足度調査の結果について

- ・令和7年度卒業生を対象とした本校での学校生活に関する満足度調査の結果を報告する。

意見1：調査結果の回答の一部にネガティブな意見も見受けられるが、これらについては卒業生からの貴重な意見として真摯に受け止め、今後の改善や発展の機会として活用していくことが望まれる。

意見2：調査結果において、「校則が厳しい」との意見が一部見受けられた。しかし、高校段階において清楚な身だしなみや適切なマナーを身に付けることは、社会に出た際に大いに役立つものだと考えられる。したがって、本校においては今後も引き続き適切かつ丁寧な指導をお願いしたい。

意見3：調査結果において、「学校行事が少ない」との意見が一部見受けられた。その要因の一つとして、本校では体育祭が実施されていないことが考えられるため、今後の実施の可否や在り方について検討する必要がある。また、本校には「市岐商デパート」という素晴らしいイベントがあるが、エンターテインメント性を取り入れるとともに、視覚的な魅力を高めるなど、より効果的なアピール方法を工夫することも有効だと考えられる。

意見4：調査結果において、「よくあてはまる」との回答が50%以上を占めた項目は、本校の教育活動において重要な要素であると捉えられる。一部にネガティブな意見も見受けられるが、全体としては概ね良好な結果であったと評価できる。

(4) その他

- ・令和8年度中に、ホームルーム教室をホワイトボード化し、電子黒板を導入するとともに、令和9年度入学生から年次進行で、タブレット端末をBYODで導入することについて報告する。

7 会議のまとめ

- (1) 会長、副会長、支援推進コーディネーターに次の3名が選出され、全委員より承認が得られた。

会長：竹本 康史 副会長：加藤 講平 支援推進コーディネーター：桐生 伸治

- (2) 第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- (3) 委員からの意見を踏まえて、本校の教育活動等の見直しや改善を行い、本校生徒の満足度を高めるとともに、本校への入学希望者の増加につなげていく。
- (4) 第2回では、今年度の取組についての成果と課題の報告及び次年度に向けて改善策や助言等を得る予定である。